

ご挨拶



新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、社会・経済の活動はほぼコロナ前に戻ってきましたが、人手不足、資源価格・物価の高騰、デジタル化やDXの動き、脱炭素化、など、県内企業を取り巻く環境は依然として厳しく且つ、大きく変化しています。

このような中、取り巻く環境に対応し持続的に成長発展していくためには、競争力を強化し利益拡大に資する新技術・新製品の開発や生産性の向上が重要です。

福岡県工業センターは、ものづくり中小企業に最も身近で、現場の技術的課題に精通した公的支援機関として、「研究開発」、「人材育成」、「技術相談・試験分析」、「交流・連携」、「情報発信」の5つの基本業務により、企業の新技術・新製品の開発や生産性向上の取り組みを技術面から総合的に支援しています。

近年は、「高分子材料開発支援ラボ」、「ふくおか食品開発支援センター」、「家具試作・評価支援ラボ」、「デジタル化実証支援ラボ」の4つの支援拠点の整備に加え、コロナ禍やデジタル化・DX、資源高・物価高に対応するための開発に資する多くの機械設備等を新たに導入し、支援体制を拡充強化してきました。さらに、活動を幅広い県内企業の皆様に知っていただくとともに、課題やニーズ等を調査し、より効果的な支援につなげるため、新たな組織として「コネクトグループ」を令和6年度に設置しました。加えて、オンライン技術相談システムを強化して、より負担なくご相談できる体制を整備しました。

このたび、これらの支援業務を通じて、新たに製品化や事業化ができた成果を整理し、令和6年度版「福岡県工業技術センター 概要と成果」を取りまとめました。概要部分では、各組織が担当する技術分野や支援機能を掲載しておりますので、技術開発などを行う際に参考にしていただきたいと思います。

私ども福岡県工業技術センターは、「“創る”を“共に” 福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」をキャッチフレーズに、県内企業1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでまいります。また、将来を見据えた技術の蓄積にも取り組み、その技術を企業のみならずみなさまにご活用いただくことを通じて、福岡の未来を切り拓いていきたいと考えています。

多くの企業の皆様にご活用いただき、福岡の未来（あす）を創る活動を共に進めることができましたら幸いです。ご利用を心よりお待ちしております。

令和6年10月

福岡県工業技術センター 所長 吉海 和正